

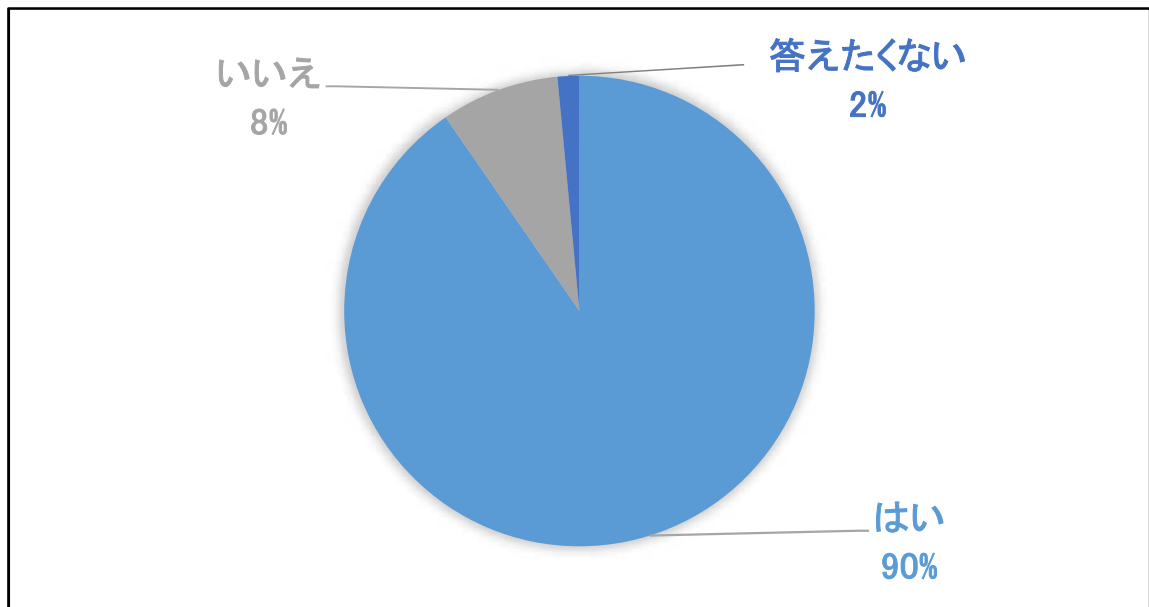
# 令和6年度第2回県政モニター調査結果

鹿児島県選挙管理委員会事務局  
(TEL:099-286-2225)

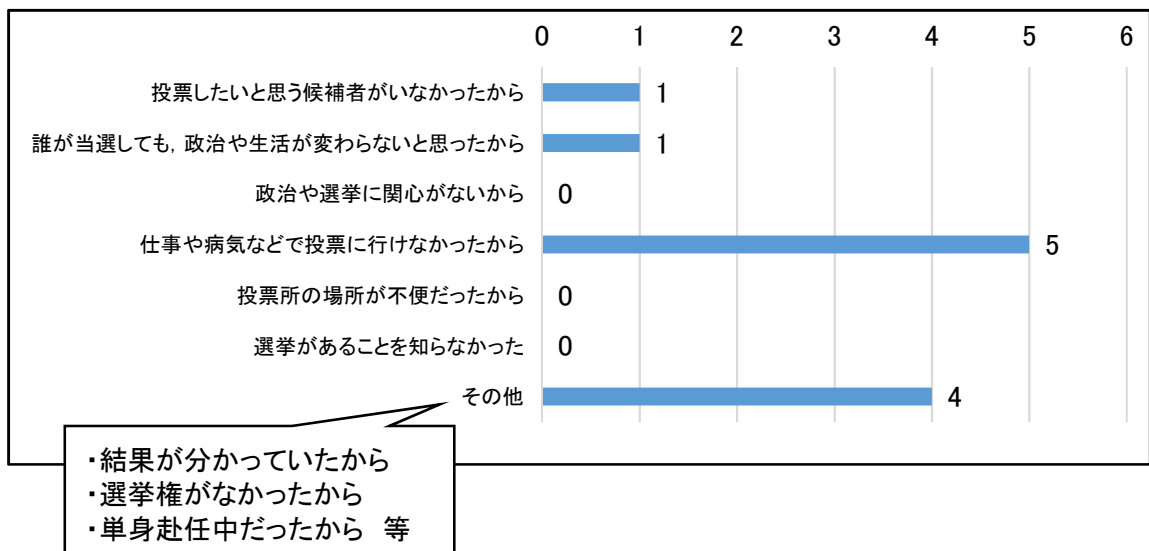
- テーマ 令和6年7月7日執行鹿児島県知事選挙における選挙啓発の効果測定について
- 実施月 令和6年7月
- 調査の目的 鹿児島県選挙管理委員会が令和6年7月7日に実施した鹿児島県知事選挙における各種選挙啓発活動に関する御意見をいただき、投票率向上に向けた今後の選挙啓発活動の参考とする。
- 調査対象者数 200人
- 回答者数 135人(67.5%)

## 問1 投票について

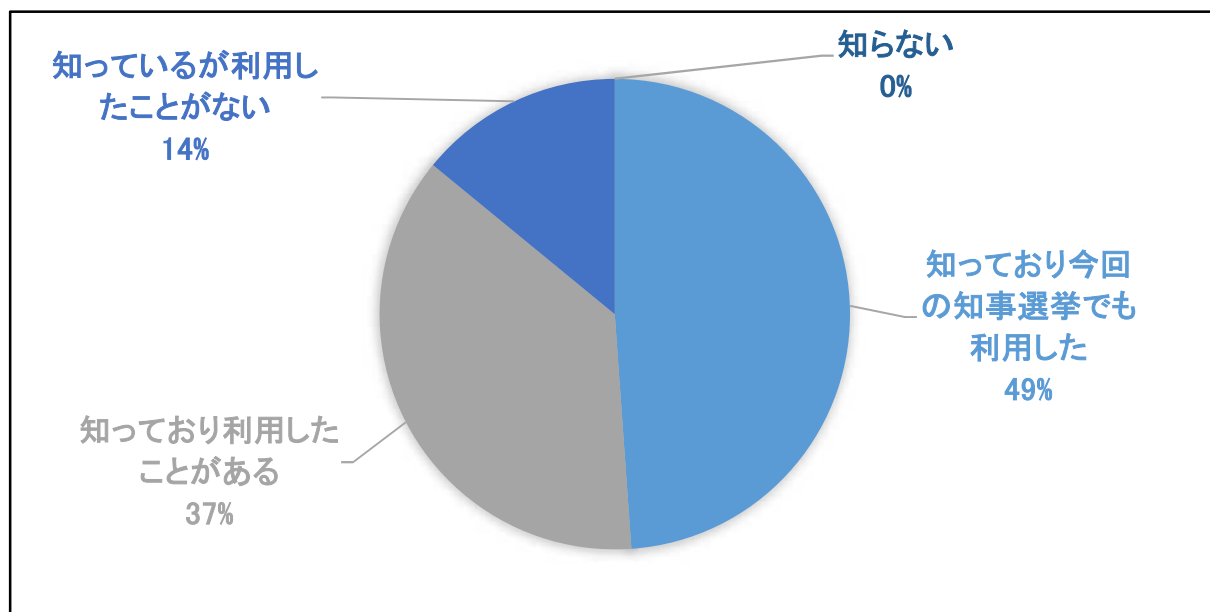
### ① 今回の知事選挙の投票に行きましたか。



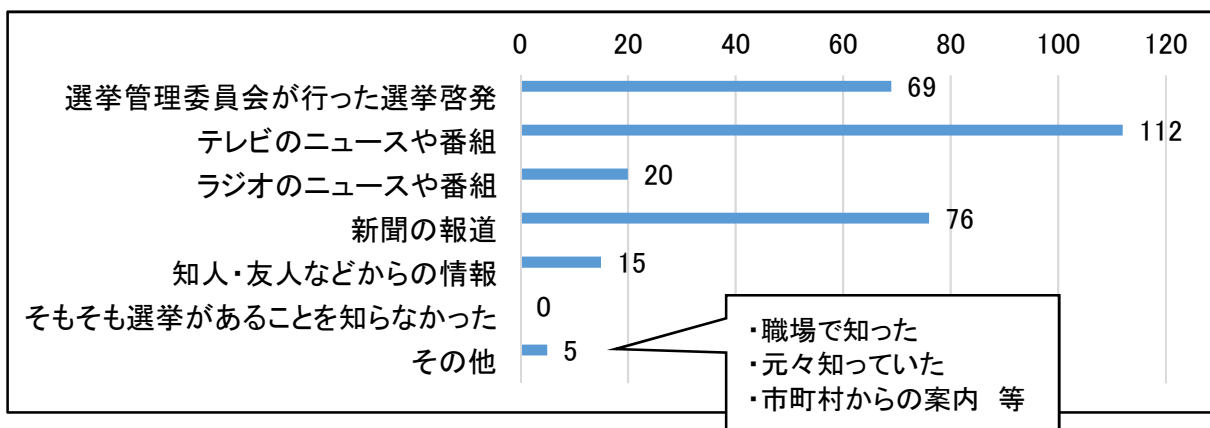
### ② 投票に行かなかった主な理由



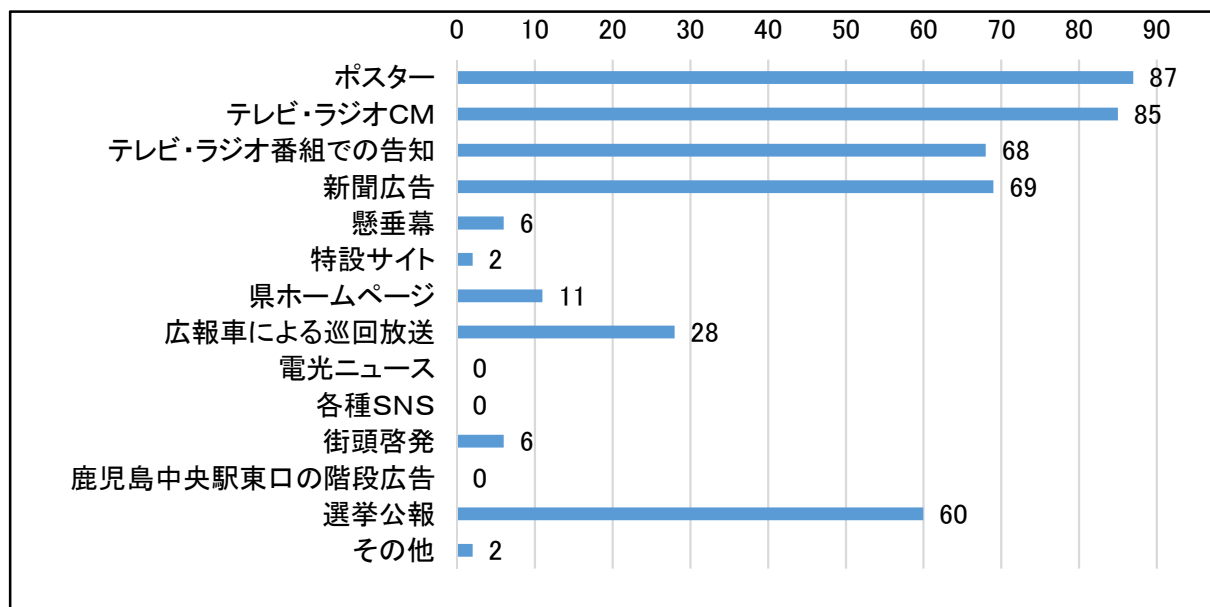
**問2 当日投票に行けない人のために「期日前投票制度」がありますが、この制度を知っていますか。**



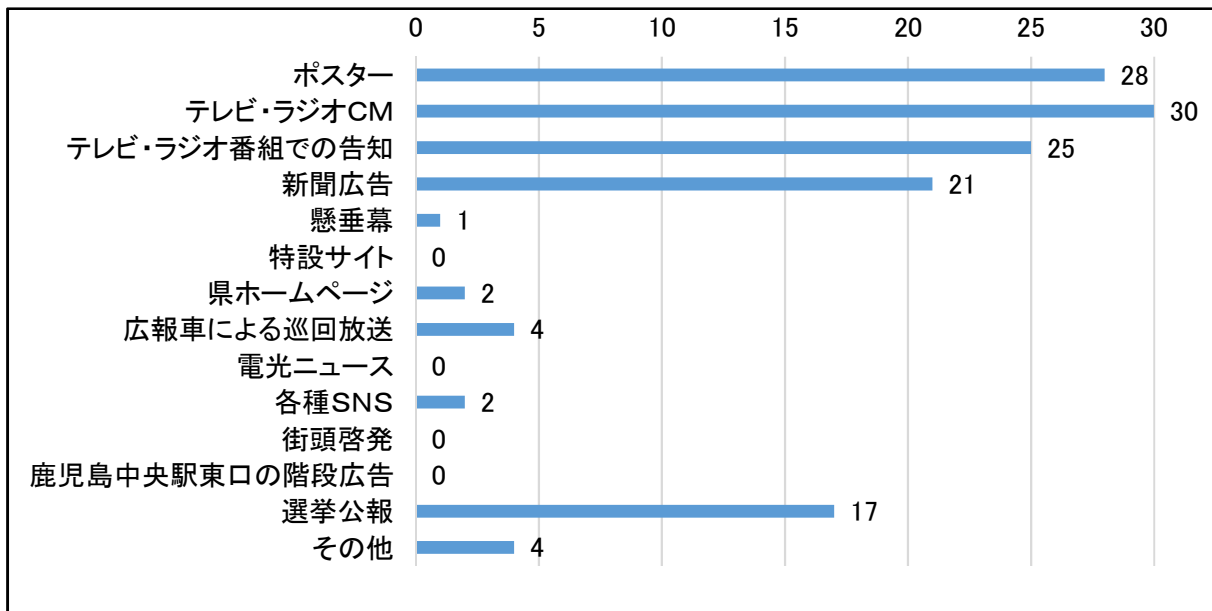
**問3 選挙があることを知ったきっかけは何ですか。（3つまで回答可）**



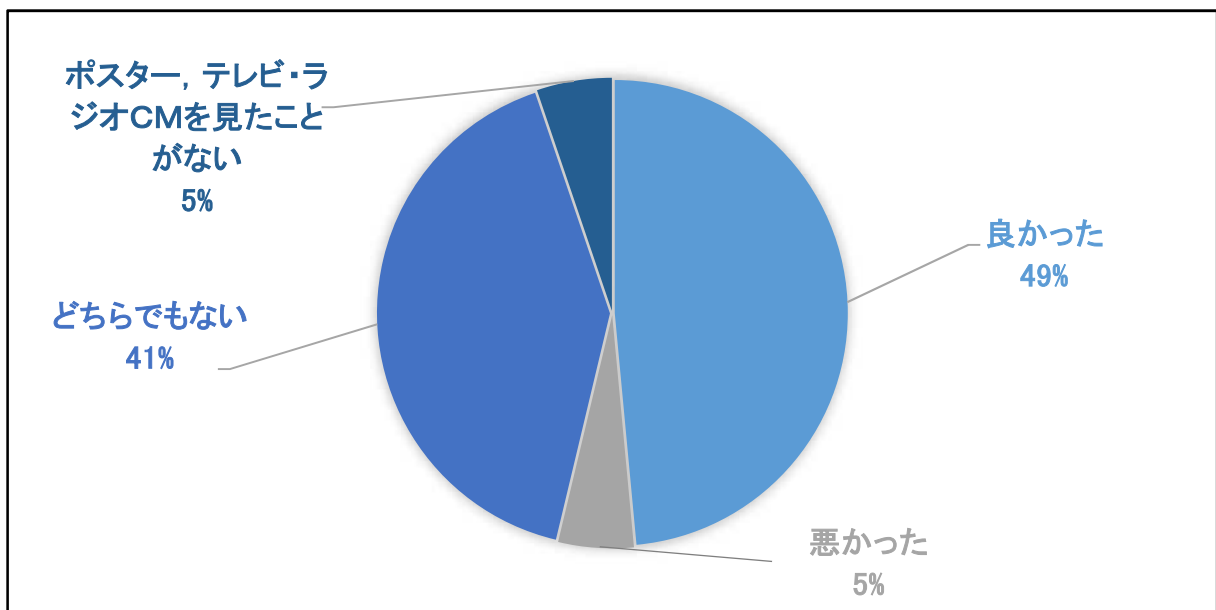
**問4 選挙管理委員会が行った選挙啓発で、見たり聞いたりしたものは何ですか。（5つまで回答可）**



**問5 問4で回答した選挙啓発のうち、最も印象に残ったものは何ですか。  
(1つのみ回答)**



**問6 ポスター及びテレビ・ラジオCMについて**  
**① 今回のポスター及びテレビ・ラジオCMの内容について感想をお聞かせください。**



**② ①の選択肢を選んだ理由についてお聞かせください。また、啓発内容に関し、そのほか御意見等がありましたら併せて御記入ください。**

※ この他にもたくさんの御意見をいただきましたが、一部を抜粋・編集して紹介しております。

**【「良かった」を選択した方の御意見】**

- ・ 誰でも良いわけではない！という、今までよりインパクトのある表現で良かったと思う。
- ・ 分かりやすい表現であったと思う。
- ・ 若い世代の方も政治に関心を持ってもらえるような内容だと感じたため。
- ・ 他力本願というフレーズがまさかあのような形に変更されたのは異例だがスポットがあたり注目された点は逆に良かったと思う。本来の意味の方が知らなかったのが勉強になった。ただ、今回はさほど大事にはならな

かったが、あらゆる面において確認作業は必要ということもわかったと思うので、今後の反省材料としてほしい。

- ・ 堅苦しすぎず啓発ポスターなどは若者に興味を持って見てもらえるようなものであった。
- ・ 良かったが、ひねり過ぎていた。
- ・ 面白い目を引くポスターで良かった。
- ・ 他力本願の件もありましたが、それでも皆が興味を持つような奇をてらった内容で、今までと違いユーモアがあり、ぜひまた同じように作ってほしいです。
- ・ CMもかなりインパクトがあり、ん??と思うところもありましたが、それが逆に印象に残りました。

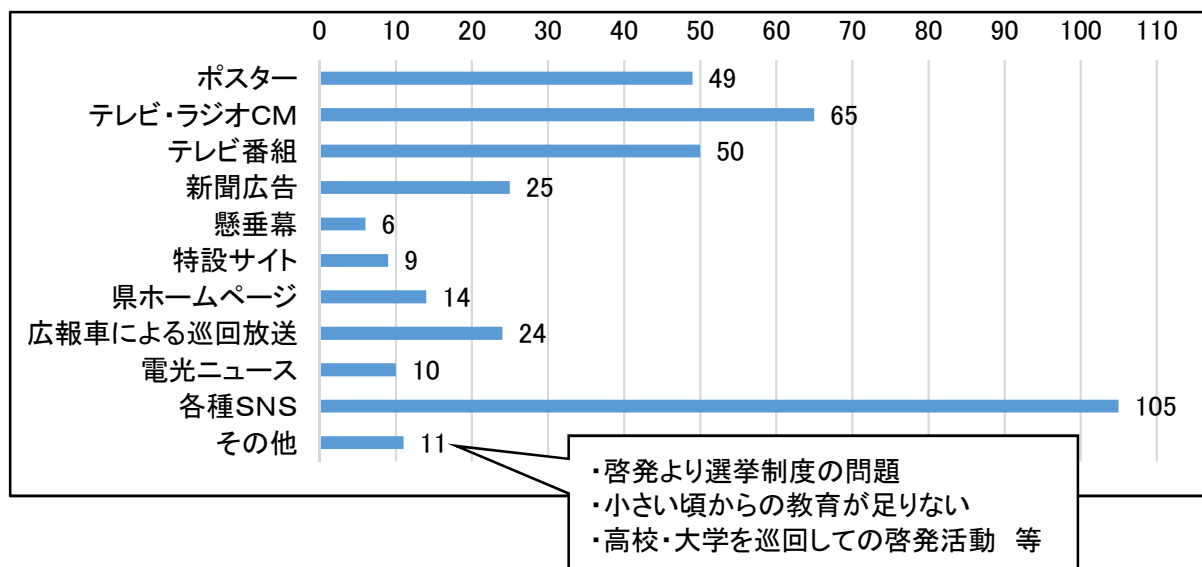
#### 【「悪かった」を選択した方の御意見】

- ・ そもそも県民の多くは「知事なんて誰でもいい」とは思っていないのではないかと。やっぱり「ちゃんとした人、優秀な人に県政を担ってほしい」と思っているのが大多数だと思う。今回のポスターは受け狙い・SNSでの話題狙いであり、そういう県民の思いとは少しずれていたと思う。
- ・ 今回の選挙啓発のポスターは、どの年齢層への啓発であったのか？選挙に対する真剣さが伝わってこなかった。お笑いでなく、もう少し真面目なポスターの内容にしてほしかったです。
- ・ 神聖な選挙をお笑いにしてほしくなかった。
- ・ あまりにもユーモア感を前面に出しすぎていて、知事選の重みが損なわれてしまうと感じた。また、今回の広告で「選挙に行こう」という動機付けを与えるにはあまりに軽すぎると感じた。

#### 【「どちらでもない」を選択した方の御意見】

- ・ 若年層に向けた放送やポスターではなく、啓発がなされていない。
- ・ いつも通りで、特に変わり映えが無いため。
- ・ これまでの選挙広報と変わらないと感じました。
- ・ 県民が興味を持てるように改善してください。
- ・ 特に印象に残ってないため。
- ・ 報道での呼びかけや地域の防災無線等でも投票の案内もありましたので良かったと思います。

### 問7 若年層（18歳～30歳代）の投票率向上のための選挙啓発について、効果的な手法は何だと思いますか。（5つまで回答可）



## 問8 そのほか、選挙啓発全般について御意見・御感想をお聞かせください。

※ この他にもたくさんの御意見をいただきましたが、一部を抜粋・編集して紹介しております。

- ・ 小学生、中学生、高校生への選挙啓発活動を頻繁に行ってほしい。
- ・ 選挙への参加についてですが、今年も若年層の参加が少ないと感じました。今後、若年層の投票も不可欠になってくると思いますので、一人でも多くの若い方に選挙の大切さを知っていただき、投票に参加をしていただきたいと感じました。
- ・ 今では、成人したら選挙に行けるのは当然なのだが、圧政や独裁政権の下ではまともに認められなかったことを強く伝えることが必要なのではと思っています。
- ・ 18歳からの投票が可能となりましたが、小中高校、大学の教育機関を通じての啓発も重要かと思います。すでに取り組みられているかとは存じますが、さらに強化をお願いしたいです。
- ・ 政治は誰がしても同じと考える大人がいることを非常に残念に思います。日頃から政治に興味を持てるような教育を若年層からしていく必要があると思います。
- ・ 投票所を地域に限らず、出先でもできるように共通の投票所を広げてほしい。
- ・ もっと色々な大学でも、出張投票出来るようになったら良いと思う。若い人達は、無関心な人が多いので投票率を上げる工夫(学生の意見も聞く)が必要だと思う。
- ・ 今回、高校生で18歳になった我が子が選挙立会人を務めたが実際に関わることで意識が変わったように思う。実際に何らかの形で関わることで、多くの若者に興味をもってもらえるのでは。また、テレビを見る機会が非常に少なくあらゆる情報をSNSやインターネットで得ているのでそちらにもっと力を入れたほうが良いと思います。
- ・ 若年層の選挙への関心は、家庭で選挙について話す環境があれば自然と選挙に行くものだと思えます。関心をもたせるのも大人の責任ではないか。
- ・ 投票に行った後の特典(来場者カード等の提示で何か良いことがある)が魅力的だと投票率もあがるのではないかなと思う。リぼんかん等の子育て支援施設等で投票ができると投票に行きやすい。また、国勢調査のようにWebでの投票の検討もしてほしい。
- ・ 若い人の意識が低く、啓発にしても素通りである。自分事として捉えておらず、選挙のやり方を変えていく時期ではないか。
- ・ 投票へ行こう！だけではなく、なぜ投票にいかないといけないのかをもっとわかりやすく発信することが大切かと思います。小さい頃から選挙、選挙権、被選挙権、民主主義とは何かということをしっかり教育することが大事かと思いました。
- ・ 高校生への選挙の意義の教育が、将来の投票率向上に繋がると思う。投票率を上げるには、選挙前の広報だけでなく、長いスパンでの取り組みが必要だと思う。
- ・ 都市部はいろんな選挙公報媒体があると思いますが、田舎では公共交通機関を使わない人が多いため、駅・バス停のポスターもあまり見ません。今回も広報車の巡回放送も聞かなかったです。もっと広報車を走らせてもいいのではないのでしょうか？
- ・ 投票に行くことより知事に興味を持ってないんだと思う。